

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【公表番号】特表 2016-500215 (P2016-500215A)  
 【公表日】平成 28 年 1 月 7 日 (2016.1.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-001  
 【出願番号】特願 2015-534488 (P2015-534488)  
 【国際特許分類】

H 0 4 B 1/10 (2006.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 B 1/10 A

H 0 4 W 88/02 1 5 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成 28 年 7 月 6 日 (2016.7.6)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ワイヤレス通信のための方法であって、

ユーザ機器 (UE) の送信無線アクセス技術 (RAT) の少なくとも 1 つの動作パラメータを決定することと、前記送信 RAT は、前記少なくとも 1 つの動作パラメータに従って信号を送信し、

前記送信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに少なくとも部分的に基づいて、前記送信 RAT の送信された信号のデジタルベースバンド部分から、前記 UE の受信 RAT へのデジタルベースバンドにおける非線形干渉を推定するために、非線形変換を適用することと、

ローパスフィルタ (LPF) を用いて、前記受信 RAT によって受信された信号から、ベースバンドにおける前記推定された非線形干渉を除去することと、ここにおいて、LPF タップの数は、リソースブロック (RB) 割り当てを備える、前記送信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに基づいて調整される、

を備える、方法。

【請求項 2】

前記送信 RAT の前記少なくとも 1 つの動作パラメータは、周波数、帯域幅、または送信電力のうちの少なくとも 1 つをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記受信 RAT の少なくとも 1 つの動作パラメータを決定することをさらに備え、

前記推定は、前記受信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに少なくとも部分的にさらに基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記受信 RAT の前記少なくとも 1 つの動作パラメータは、周波数、帯域幅、または受信信号強度インジケータのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

除去する前に、前記送信 RAT の前記動作パラメータまたは前記受信 RAT の前記動作パラメータのうちの少なくとも 1 つをしきい値と比較することをさらに備える、請求項 3

に記載の方法。

【請求項 6】

ワイヤレス通信のための装置であって、

ユーザ機器 (UE) の送信無線アクセス技術 (RAT) の少なくとも 1 つの動作パラメータを決定するための手段と、前記送信 RAT は、前記少なくとも 1 つの動作パラメータに従って信号を送信し、

前記送信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに少なくとも部分的に基づいて、前記送信 RAT の送信された信号のデジタルベースバンド部分から、前記 UE の受信 RAT へのデジタルベースバンドにおける非線形干渉を推定するために、非線形変換を適用するための手段と、

ローパスフィルタ (LPF) を用いて、前記受信 RAT によって受信された信号から、ベースバンドにおける前記推定された非線形干渉を除去するための手段と、ここにおいて、LPF タップの数は、リソースブロック (RB) 割り当てを備える、前記送信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに基づいて調整される、

を備える、装置。

【請求項 7】

前記送信 RAT の前記少なくとも 1 つの動作パラメータは、周波数、帯域幅、または送信電力のうちの少なくとも 1 つをさらに含む、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記受信 RAT の少なくとも 1 つの動作パラメータを決定するための手段をさらに備え、

前記推定は、前記受信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに少なくとも部分的にさらに基づく、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】

前記受信 RAT の前記少なくとも 1 つの動作パラメータは、周波数、帯域幅、または受信信号強度インジケータのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

除去する前に、前記送信 RAT の前記動作パラメータまたは前記受信 RAT の前記動作パラメータのうちの少なくとも 1 つをしきい値と比較するための手段をさらに備える、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 11】

ワイヤレスネットワークにおけるワイヤレス通信のためのコンピュータプログラム製品であって、

非一時的なプログラムコードを記録したコンピュータ可読媒体を備え、前記プログラムコードは、

ユーザ機器 (UE) の送信無線アクセス技術 (RAT) の少なくとも 1 つの動作パラメータを決定するためのプログラムコードと、前記送信 RAT は、前記少なくとも 1 つの動作パラメータに従って信号を送信し、

前記送信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに少なくとも部分的に基づいて、前記送信 RAT の送信された信号のデジタルベースバンド部分から、前記 UE の受信 RAT へのデジタルベースバンドにおける非線形干渉を推定するために、非線形変換を適用するためのプログラムコードと、

ローパスフィルタ (LPF) を用いて、前記受信 RAT によって受信された信号から、ベースバンドにおける前記推定された非線形干渉を除去するためのプログラムコードと、ここにおいて、LPF タップの数は、リソースブロック (RB) 割り当てを備える、前記送信 RAT の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに基づいて調整される、

を備える、コンピュータプログラム製品。

【請求項 12】

前記送信 RAT の前記少なくとも 1 つの動作パラメータは、周波数、帯域幅、または送信電力のうちの少なくとも 1 つをさらに含む、請求項 11 に記載のコンピュータプログラ

ム製品。

【請求項 13】

前記プログラムコードは、

前記受信 R A T の少なくとも 1 つの動作パラメータを決定するためのプログラムコードをさらに備え、

前記推定は、前記受信 R A T の前記決定された少なくとも 1 つの動作パラメータに少なくとも部分的にさらに基づく、請求項 11 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 14】

前記受信 R A T の前記少なくとも 1 つの動作パラメータは、周波数、帯域幅、または受信信号強度インジケータのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 13 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 15】

前記プログラムコードは、除去する前に、前記送信 R A T の前記動作パラメータまたは前記受信 R A T の前記動作パラメータのうちの少なくとも 1 つをしきい値と比較するためのプログラムコードをさらに備える、請求項 13 に記載のコンピュータプログラム製品。